

2021年度事業基本方針

2021年1月1日から、2021年12月31日まで

2020年、財団設立3周年に設置した第一線の研究者やアドバイザーによる「調査研究委員会」やシンポジウム&パネルディスカッションの開催を通して、今後の「本丸御殿など江戸城全体整備構想」の策定や「江戸東京の歴史文化資源を活かした観光まちづくり」を進めるに当たり基本的な視点や運動の基本となる縁（よすが・手掛かり）を得ることが出来ました。

現今の世界的なコロナ・パンデミックによる社会経済の厳しい状況下、人々の意識や行動変容なども踏まえて、「本丸御殿等江戸城全体整備構想（以下「構想」という）」の策定は、一旦、留保するものを目指す基本方針は堅持し、人・モノ・資金など相応の体制が整い次第、策定活動を再開することと致します。

一方「構想」の策定活動と表裏一体となる「江戸東京の歴史文化資源を活かした観光まちづくり（以下、歴史まちづくり）」を先行し、2021年度から中期的課題として「プラットフォーム」の基盤整備に向けた取り組みを進めます。

都市東京の「歴史まちづくり」の振興に寄与することを目的とし、その主旨に賛同する産学官民の関係者との交流を進めつつ、其々の望ましい役割・使命を模索し検討して参ります。

調査・研究事業：

- ・江戸東京歴史文化ルネッサンス調査研究委員会「調査研究委員会報告書」の策定（2021年5月）
- ・調査研究の成果である600余の文化財をベースに、江戸東京の歴史文化資源の情報収集等を進める調査研究プロジェクトを設置し、プラットフォームの基盤整備を進めます。

普及・啓発・提言事業：

これまでの調査研究の成果や2020年策定の今日的意義の検証を通し、下記のテーマ等について、「学び&交流し&普及する」取り組みにより、会報誌やホームページなどを通して、広く社会一般に速やかに情報を公開すると共に、千代田区など自治体や行政などの関係機関に対し、報告や提言活動を行って参ります。

*2021年度のテーマ(案)

- ・本丸御殿等の復原検討（歴史建造物復原の事例研究）
- ・東京の秘められた水都としての可能性を学ぶ
- ・文化財巡り及び人材育成
- ・江戸東京の文化―「祭」「年中行事」、武士や町民の文化
- ・対談や座談：江戸東京の歴史や文化資源を活用した観光まちづくりを語る
- ・会報誌など印刷物：（年4回を基本とし、発行数約1000部）

以上